

## 5 - 6 静岡県中部（大井川下流付近）の地震活動

### Seismic activity near the lower Ooi River in the central Shizuoka prefecture

気象庁地震予知情報課  
Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

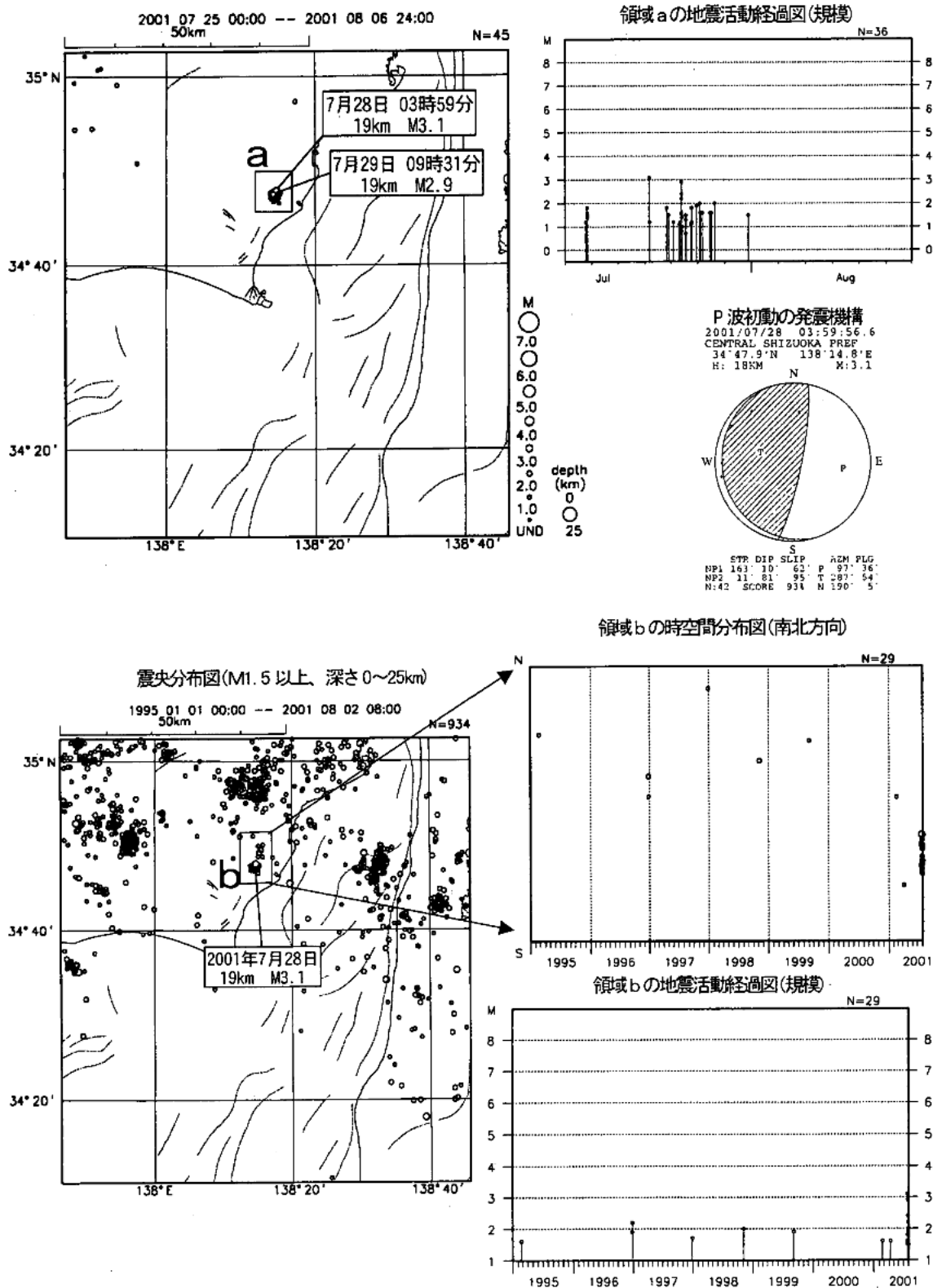
2001年7月25日頃から静岡県中部の大井川下流付近の深さ約20kmの上盤側地殻内で小規模であるが、まとまった地震活動があった。最大は7月28日のM3.1（深さ19km）の地震だった。最大地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型だった。今回の活動があった場所は1995年以降で見ると、ほとんど地震が発生せず活動レベルが低い場所だった。そのためこの活動に注目して見ているが、地震活動は7月中にはほとんど終息した（第1図）。

第2図に今回の地震活動を含む1995年以降の震央分布とフィリピン海スラブの沈み込み方向にとった断面図を示す。今回地震が発生した場所より北側の静岡市西方で地震が集中して発生している場所では上盤側地殻内で今回の最大地震と同じ逆断層型の地震が発生している。第3図に今回の地震活動とその周辺の地震の発震機構解を震央分布と東西方向の断面図上に示した。断面図上の震源球は横からみた図になっている。今回の地震の活動域はフィリピン海スラブの上端より上の地殻内である。静岡市西方で上盤地殻とフィリピン海スラブ上端の間に挟まれ傾斜した地震帯を野口(1996)<sup>1)</sup>は遷移帯と呼んでおり、この中では逆断層型の地震が発生している。大井側下流付近の深さ8～25kmに傾斜する震源はこの顕著な遷移帯の延長であると解釈されている。今回の地震は大井側下流付近の深さ約20kmで発生し、ほぼ東西方向に圧力軸のある逆断層型であることから、この遷移帯の中で発生したと考えられる。

#### 参 考 文 献

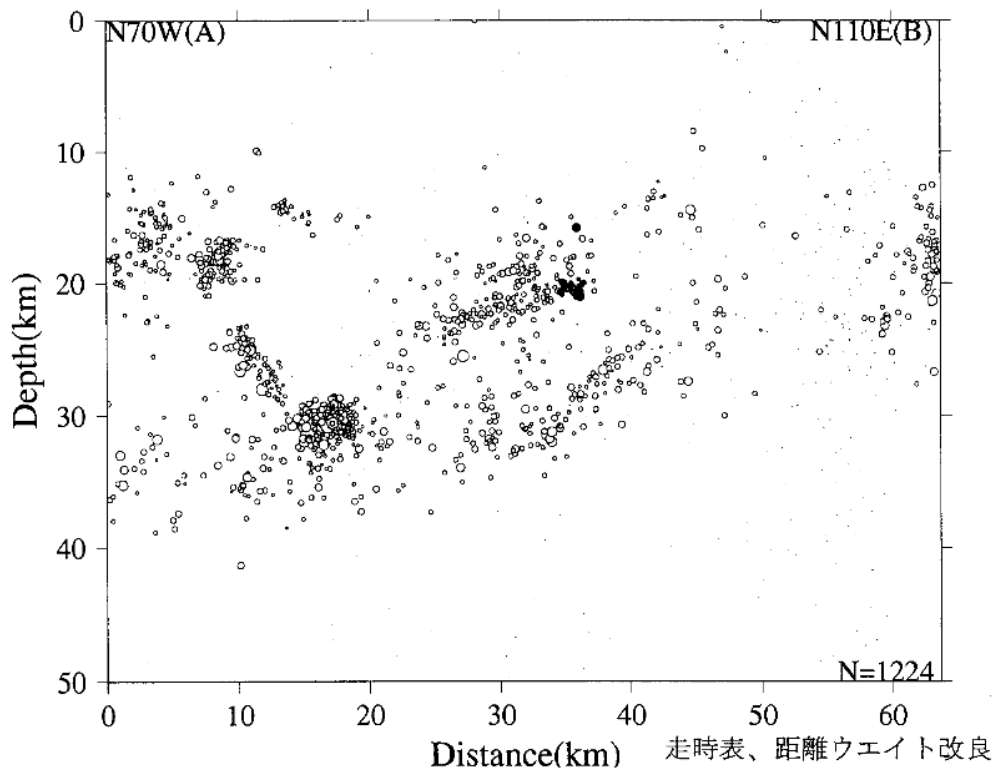
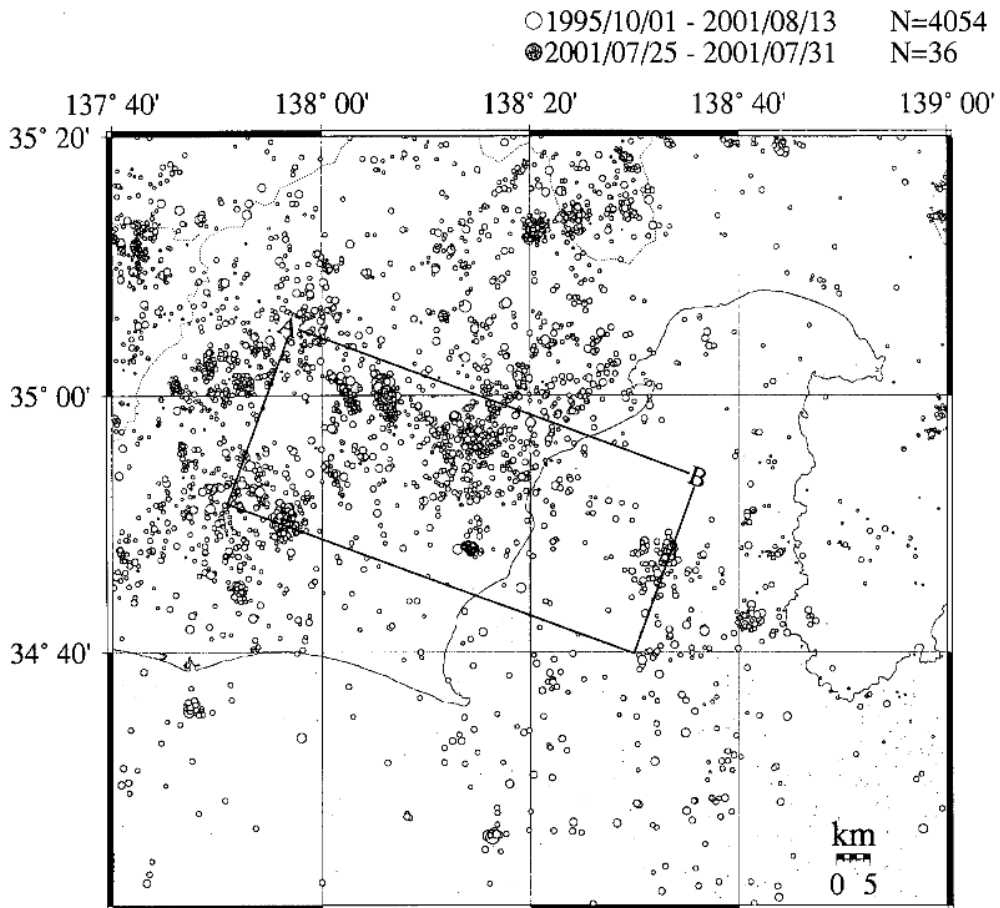
- 1)野口伸一：東海地域のフィリピン海スラブ形状と収束テクトニクス，地震 2,49(1996),295-325.

# 静岡県中部(大井川下流付近)の地震活動



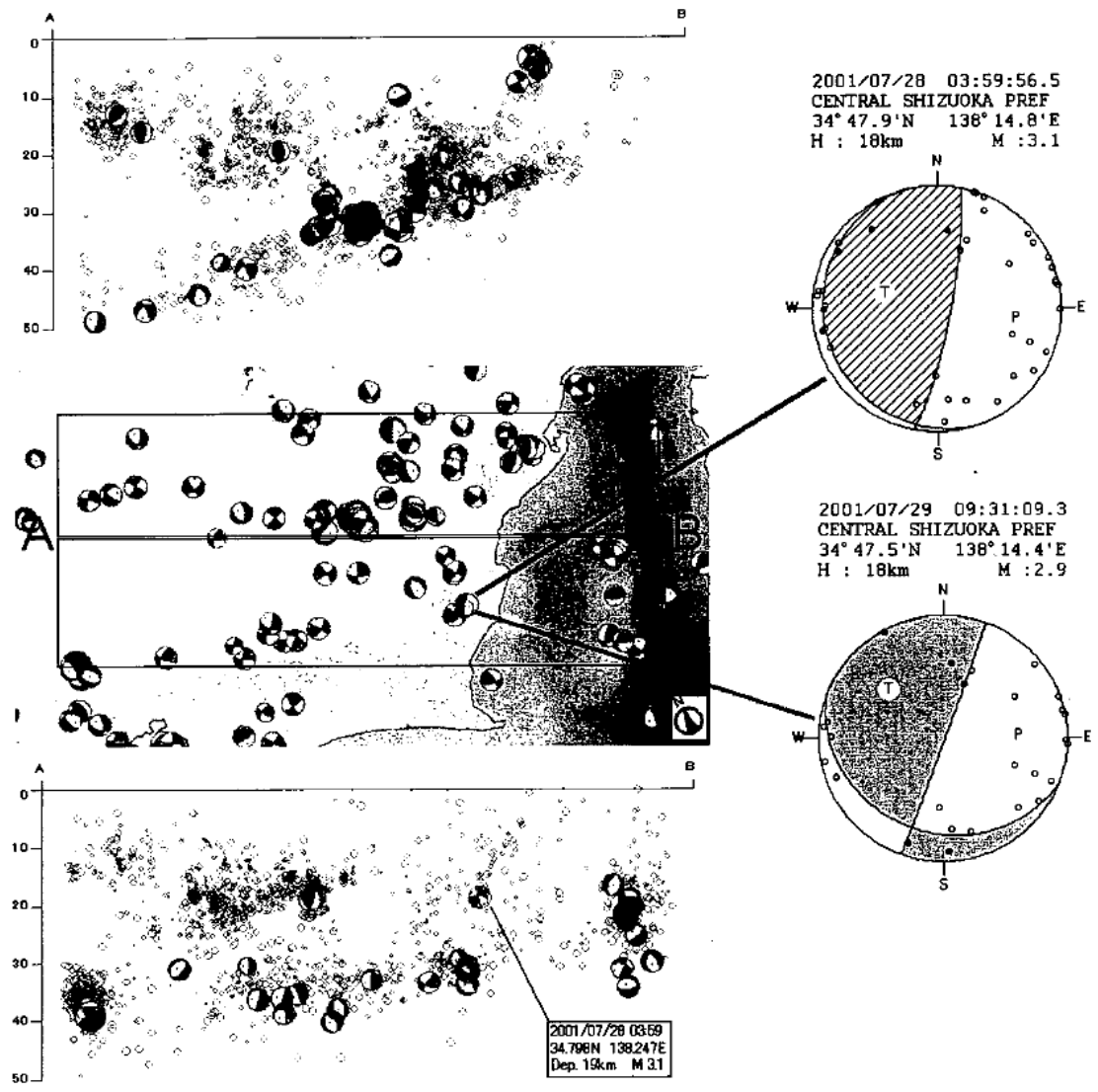
第1図 静岡県中部(大井川下流付近)の地震活動

Fig.1 Seismic activity in the central Shizuoka prefecture(near the lower Ooi River).



第2図 静岡県中部(大井川下流付近)の地震の震源分布

Fig.2 Hypocentral distribution of the earthquake in the central Shizuoka prefecture(near the lower Ooi River).



第 3 図 静岡県中部（大井川下流付近）周辺の地震の発震機構

Fig.3 Focal mechanism solutions of the earthquake in and around the central Shizuoka prefecture(near the lower Ooi River).